



FLAMINGO

令和5年 11月 30日発行
横浜市立荇田南小学校
学校だより 12月号



ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/edaminami/>

「子どもたちの笑顔」を全力で守る

校長 阿部 千鶴

めっきり日が短くなり、寒さが増してきました。ついこの前まで夏日だったのに。夏から急に冬がやってきたようで、季節はいつの間にか冬です。12月（師走）がやってきます。今年も締めくくりの時がやってきました。

本校は、みんな笑顔の温かい学校。～チーム荇田南で実現～ を合言葉に、全職員で児童を見守る取り組みを行っています。

- ・全学年で行っている、教科分担制
- ・3年生以上で行っている、コース別算数
- ・あいさつ名人
- ・異学年交流（フラミンゴ遠足など）
- ・目安箱の設置（聞いてもらい大人にいつでも相談ができます）

など、学級担任だけでなく、多くの職員や他学年の児童が一人の子どもに関わっています。



平成25年に、いじめ防止対策推進法が制定され、今年が10年目となります。

「いじめ」とは、児童等に対して、一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的または物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの

本校では、定期的にいじめ防止対策委員会を開催し、各クラスや学年にいじめの兆候がないか、嫌な思いをしている子がいないか確認し、いじめの早期発見、早期解決に努めています。また、「いじめは絶対にゆるさない」「いじめられている子を守り抜く」ことを柱に、「荇田南小いじめ防止基本方針」を策定しています。

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/edaminami/index.cfm/1,0,60,html>

いじめは、どの学級でも、どの子にも起こりうることです。悪気なく言ったりやったりしたことが友達を思いのほか傷つけてしまっていたりすることも、よくあることです。私も、小学生の頃に友達から言われた心ない言葉を、大人になった今でも覚えています。

だからこそ、いじめは絶対にしてはならないし、早期に解決させたいと思っています。

体の傷は時間と共に治るし、どこが傷口だったかわからなくなります。でも、心の傷はいつまでも消えないし、一生消えないかもしれないからです。

本校では、多くの職員が一人の児童に関わる仕組みをつくり、一人ひとりを見守っています。お子さんのことで、何か気になることがありましたら、遠慮なく職員にお伝えください。

子どもたちの笑顔を全力で守っていきたいと思います。